

導入・課題提示

本時の流れ
↓
↓
↓
観点の明確

図書室の利用率は下がってきているが、五年生は読書好きな人が多いという学級の実態を確認し、前時に作ったアイテム(本の推薦方法)を読み合って、読書の魅力を見付け、伝えようという「導入」から「課題提示」へのつながりがよかった。

子供の気付き・読書の魅力
+ (つなげる)
学習のゴールに!

思考アクティブ化シートB-③活用重視

グループ交流を通して、子供たちが班全員のアイテムを読み、互いの作品のよさを見付けることができた。同じ文章でも、自分の好きな分野でアイテムをつくと、自分と同じ読み方をする人や視点が違う人があることに気付くことができた。

子供たちの気付き

子供たちの発言・つなげる
教師のスキル

展開後半で、自分の書いたアイテムと友達の書いたアイテムに、「同異点」や「視点の多様さ」を見付けた子供たちの発言を、教師がつないでいくことで読書の魅力に迫ることができたのではないかな。

「読書会の魅力」から「読書の魅力」へつなげるために、まとめの前の振り返りの時間を確保する必要があったのではないかな。

【5年生 国語科】 本は友達

【本時の目標】

「千年の針いどむ」の推薦アイテムを読み合い、視点の多様さに気付くことができる。

研究内容 3

活用・振り返り・習得

「グループ交流」で、何を明らかにし、「全体交流」で、子供の気付きを整理し、「まとめ」で、整理した子供の気付きと読書の魅力を関連付けることで、次時につながる流れになったのではないかな。

振り返りの場面では、教師が話さなくても、子供たちの発言をつなげたり、焦点化したりすることで読書の魅力に迫ることができたのではないかな。

「本の魅力」「読書の魅力」「読者の視点の多様さ」「筆者によるものの見方の多様さ」など、整理する必要があった。

お薦めしたい本は?